

第4回 周産期医療体制のあり方に関する検討会  
平成28年2月3日

資料3

# 周産期搬送について

---

# 受入医療機関決定までに受入に至らなかった理由とその件数（産科・周産期）平成26年

○周産期搬送では、「かかりつけ医がない」ことが受け入れに至らない理由となりうる。 ○「処置困難」な病院に搬送依頼をしている。

## 受入に至らなかった理由ごとの件数

		手術中 患者対応中	ベッド満床	処置困難	専門外	医師不在	初診 (かかりつけ医 なし)	理由不明 その他	計
		重症以上傷病者	件数	28,990	18,017	37,880	15,849	4,817	864
	割合	21.2%	13.2%	27.8%	11.6%	3.5%	0.6%	22.0%	100%
産科・周産期傷病者	件数	<b>964</b>	<b>250</b>	<b>1,505</b>	<b>808</b>	<b>258</b>	<b>122</b>	<b>1,479</b>	<b>5,486</b>
	割合	<b>17.6%</b>	<b>4.6%</b>	<b>27.4%</b>	<b>16.6%</b>	<b>4.7%</b>	<b>2.2%</b>	<b>27.0%</b>	<b>100%</b>
小児傷病者	件数	22,548	3,169	24,506	25,299	7,309	470	18,770	102,071
	割合	22.1%	3.1%	24.0%	24.8%	7.2%	0.5%	18.4%	100%
救命救急センター 搬送傷病者	件数	55,655	24,774	65,546	40,896	10,521	1,139	47,480	246,011
	割合	22.6%	10.1%	26.6%	16.6%	4.3%	0.5%	19.3%	100%

## 照会回数11回以上の事案における受入に至らなかった理由と件数

		手術中 患者対応中	ベッド満床	処置困難	専門外	医師不在	初診 (かかりつけ医 なし)	理由不明 その他	計
		重症以上傷病者	件数	1,091	832	1,460	875	159	28
	割合	20.3%	15.5%	27.1%	16.3%	3.0%	0.5%	17.4%	100%
産科・周産期傷病者	件数	<b>34</b>	<b>12</b>	<b>109</b>	<b>27</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>68</b>	<b>253</b>
	割合	<b>13.4%</b>	<b>4.7%</b>	<b>43.1%</b>	<b>10.7%</b>	<b>0.4%</b>	<b>0.8%</b>	<b>26.9%</b>	<b>100%</b>
小児傷病者	件数	246	34	446	629	105	22	244	1,726
	割合	14.3%	2.0%	25.8%	36.4%	6.1%	1.3%	14.1%	100%
救命救急センター 搬送傷病者	件数	2,606	1,414	3,513	2,402	369	67	7,284	17,659
	割合	20.0%	8.0%	19.9%	13.6%	2.1%	0.4%	41.2%	100%

# 救急搬送における医療機関の受入状況（産科・周産期傷病者）平成26年

○ 医療機関の照会回数4回以上の事案が617件（全体の3.8%）あり、現場滞在時間30分以上の事案が1,267件（7.8%）あるが、前年より微減傾向。

医療機関に受入れの照会を行った回数ごとの件数

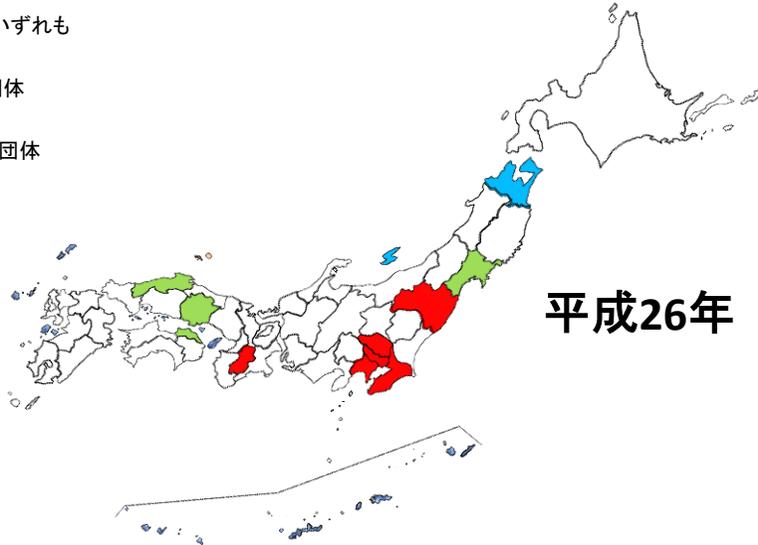
		1回	2～3回	4～5回	6～10回	11回～	計	4回以上	6回以上	11回以上	最大照会回数
産科・周産期傷病者	件数	13,420	2,163	420	176	21	16,200	617	197	21	22
	割合	82.8%	13.4%	3.0%	1.1%	0.1%	100%	3.8%	1.2%	0.1%	

現場滞在時間区分ごとの件数

		15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 45分未満	45分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計	30分以上	45分以上	60分以上
産科・周産期傷病者	件数	8,707	6,226	950	214	99	4	16,200	1,267	317	103
	割合	53.7%	38.4%	5.9%	1.3%	0.6%	0.0%	100%	7.8%	2.0%	0.6%

○ 首都圏において、照会回数の多い事案、現場滞在30分以上事案の比率が高い。

- 4回以上の事案、30分以上の事案の割合がいずれも全国平均を上回る団体
- 4回以上の事案の割合が全国平均を上回る団体
- 30分以上の事案の割合が全国平均を上回る団体



都道府県	4回以上	30分以上
青森県		19.5%
宮城県	7.4%	
福島県	5.8%	11.2%
埼玉県	7.0%	16.3%
千葉県	5.3%	10.8%
東京都	10.0%	16.5%
神奈川県	4.8%	10.4%
奈良県	4.9%	11.9%
鳥取県	5.7%	
岡山県	7.8%	
香川県	4.3%	
全国平均	3.8%	7.8%

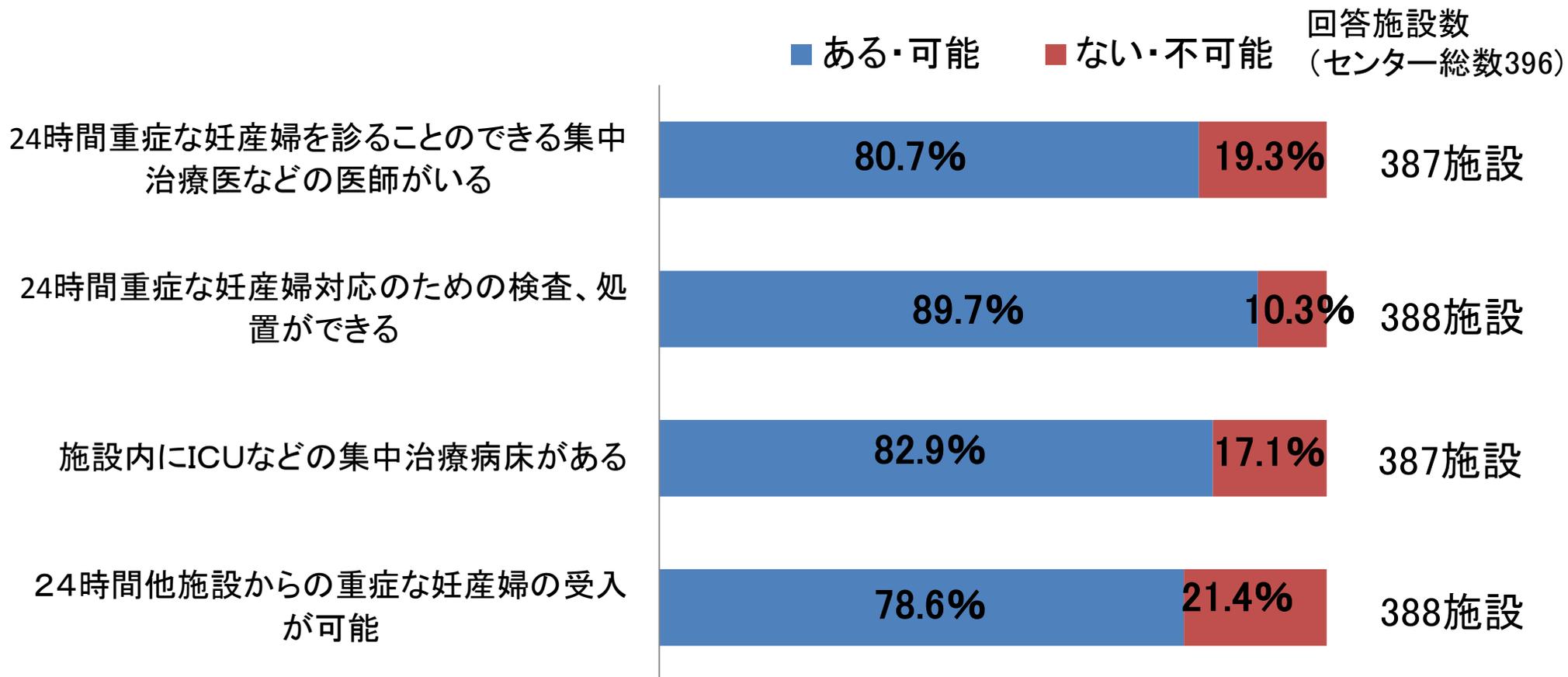
# 総合/地域区分別周産期母子医療センターの機能

- 母体搬送を受け入れられない、24時間帝王切開に対応できない施設もあり、搬送には病院の空床だけでなく機能等を考慮した選択が求められる。

母体搬送受け入れ	あり	なし	「あり」 年間5件未満	センター総数
H26年末調査(H25年度実績)	352	40	14	392
H25年末調査(H24年度実績)	339	49	16	388
24時間帝切可能	可	不可	不明	総数
H26年末調査(H25年度実績)	374	15	3	392
H25年末調査(H24年度実績)	369	15	4	388
24時間輸血可能	可	不可	不明	総数
H26年末調査(H25年度実績)	382	7	3	392
H25年末調査(H24年度実績)	380	5	3	388

# 産科危機的出血などの重症妊産婦への対応状況

- 総合・地域周産期母子医療センターのうち、対応ができない施設も存在する
- 対応ができない施設では、院内での連携や搬送体制整備、他院との連携が必要



※ 重症な妊産婦 : DICや出血、羊水塞栓、肺塞栓などの集中治療が必要な妊産婦

# 周産期搬送体制の状況(システム、人員配置)

- 周産期情報システムはあるもののコーディネーターが配置されていない都道府県が多い。
- 都道府県によっては、現状ではコーディネーターの必要性がないと回答。

コンピューターによる周産期情報システムの有無



ハイリスク妊婦の搬送に係るコーディネーターの配置の有無



ハイリスク新生児の搬送に係るコーディネーターの配置の有無



いずれも都道府県担当者の回答。平成26年4月1日現在 医政局地域医療計画課調べ

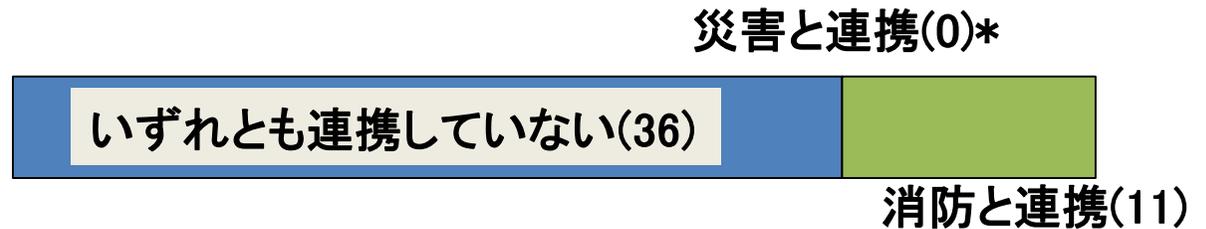
# 周産期医療協議会の状況（他領域との連携について）

- 周産期医療協議会で救急との連携について協議する場はあるものの、十分な活用がなされていない可能性。
- 対応ができない施設では、院内での連携や搬送体制整備、他院との連携が必要

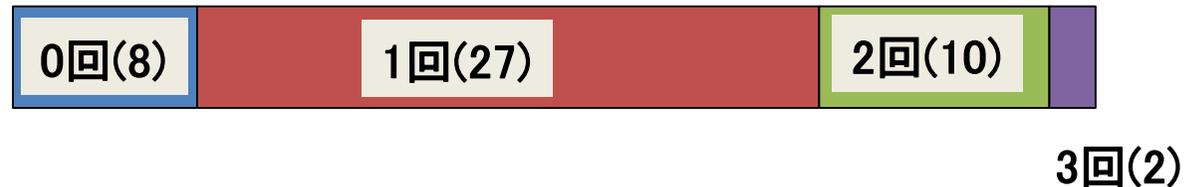
消防関係者が周産期医療協議会に入っているか



災害や消防と周産期医療協議会で連携しているか



周産期医療協議会の年間開催数（平成25年度）



\*25年度に開催した周産期医療協議会の議題として「災害」が入っていた都道府県：なし